

TDM推進委員会見聞録（第四章）

自動車通勤者がいる世帯は7割を超える

第4回 TDM 推進委員会が、平成17年1月25日（火）午後2：00より、相模原市役所の第3委員会室で行われました。

今回は、他市の事例紹介、TDMワークショップで実施した田名・上溝地区約1万5千世帯を対象にした「住民アンケート調査」や関係機関へ行った「ヒアリング調査」などの結果報告を踏まえて、今後考えられるTDM施策の抽出方法などについて議論しました。

「住民アンケート」では、自動車通勤者がいる世帯は7割を超え、そのほとんどが毎日利用していることなどが報告されて、地域の特性がわかる結果となりました。



議題について

高橋委員長の進行により議題が進められました。以下その内容を掲載します。

（1）三郷市におけるTDM施策の取り組み事例紹介

地域コミュニティバスを中心とした人・まち・環境にやさしいバス利用促進を目標に、

地域コミュニティバス6路線の運行

既設3路線の改善

サイクルバスライドの整備・充実

違法駐車防止指導、交差点改良、信号調整の実施

交通規制、交通区分の見直し

などの実証実験を行いました。

効果としては、

バス利用者が増大、市民の外出頻度の増加、

ラッシュ時のマイカー送迎が減少

長時間の駐車車両の減少

遅れないバスの定着

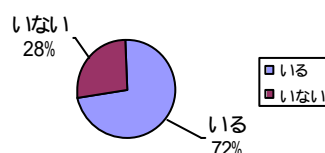
などが報告されました。



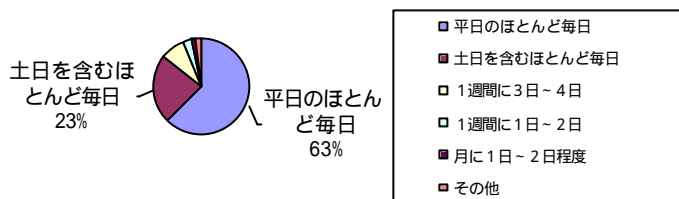
（2）住民アンケート調査結果報告

TDMワークショップで実施した住民アンケートの結果が報告されて、田名・上溝地区住民の自動車利用の傾向が明らかとなりました。

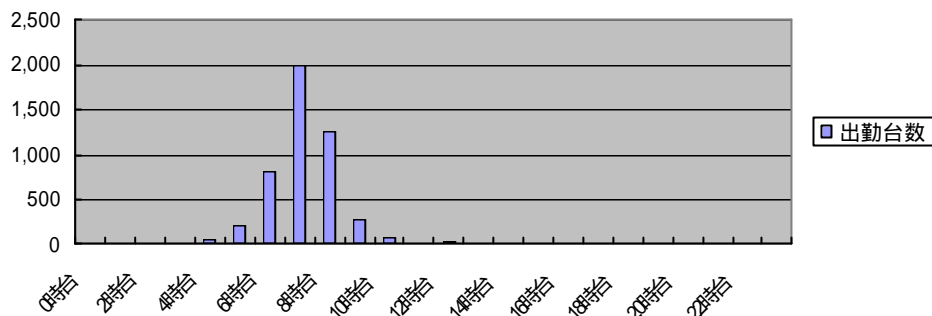
自動車通勤者のいる世帯が全体の7割を超える。



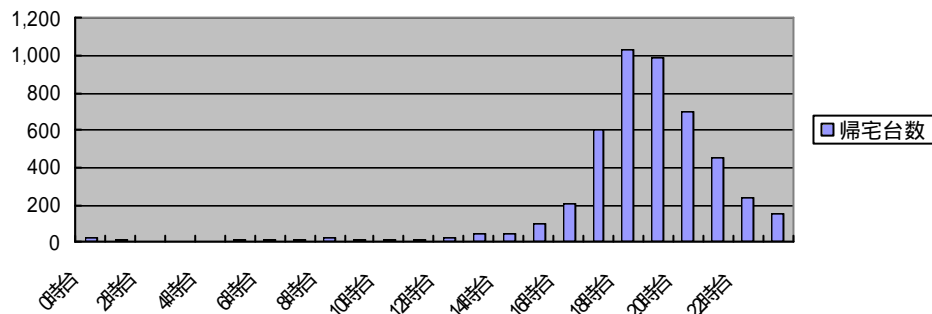
自動車の利用頻度は平日では全体の9割を占めている。



出勤時間は午前7時台が42%とピーク率が高い。



帰宅時間は午後6時～午後8時の3時間帯で分散し、それぞれ2割程度である。



(3) 関係機関へのヒアリング調査報告

TDMワークショップで考えられた施策の実現性について確認するため、神奈川県、神奈川県警、神奈川中央交通(株)、三菱重工業(株)、新キャパラー三菱(株)及び市役所などへヒアリングを行った結果が報告されました。

「時間帯による迂回車両の進入禁止」や「商店での買い物を自宅まで配送するサービス」、「交通量の少ない信号の押しボタン式」など実現性の高い施策が明確になった反面、「現道幅員の中で3車線化」や「企業・市役所のフレックスタイム導入」などについて、難しい課題があることも分かりました。

(4) TDM施策の抽出方法について

次回までにTDM施策の絞込みの準備として、今まで行ってきた各種調査の結果を踏まえた施策の方向性を整理した上で、事務局が各委員に意見照会を行うことになりました。

(5) その他について

詳しい会議録は、相模原市ホームページの「審議会等の情報」よりお入りください。今回は3月17日(木)に開催されます。